



社会福祉法人 銚子市社会福祉事業団

銚子市社会福祉事業団職員労働組合
副執行委員長 伊勢 和枝

社会福祉法人銚子市社会福祉事業団は、自主運営の特別養護老人ホームと指定管理の養護老人ホーム・保育所の3施設の運営を行っています。昭和47年に前身の銚子市養老院から、公設では千葉県下初の特別養護老人ホームとして銚子市外川町に開設されました。海を望める高台で、東洋のドーバーと称される「屏風ヶ浦」を一望でき、冬の寒い日は屏風ヶ浦の東の海に夕景にうかぶ富士山のシルエットを見ることができる、とてもすばらしい環境にありました。

法人の設立と施設運営の経緯

昭和56年12月、公共施設の運営にあたるため法人を設立、翌57年4月より特別養護老人ホーム外川園、養護老人ホーム長崎園、憩いの家君ヶ浜荘、海鹿島保育所の委託運営を開始しました。59年4月1日 銚子市ねたきり老人短期保護事業受託、平成5年3月31日で憩いの家君ヶ浜荘を廃止し、地域型の福祉センターとして4月1日より銚子市老人憩いの家・地域福祉センターこも浦荘が外川園の隣に開設され受託経営を開始し、平成8年4月1日から銚子市の西部地域に銚子市芦崎高齢者いこいセンターが開設され受託経営をおこないました。平成12年4月1日、介護保険の実施に伴い介護保険関連事業を開始しましたが、平成15年9月30日には銚子市の意向により、訪問入浴事業は廃止となりました。

指定管理者制度の導入による経費節減

この頃の職員は殆どが正規職員であり、給与基準も銚子市に準じたものであり、永く勤務されている方が多くいらっしゃいまして、経費にかかる人件費率もかなり高かったようです。しかし、銚子市でも平成18年より指定管理者制度の導入が決定され、指定管理者として選ばれるためには経費の見直し、特に人件費が問題となり、給与表の改定・特殊業務手当等の廃止といった提案がされ、当時の組合も、なんとかして職場を確保しなくてはならない、指定管理を受けなくてはならないと経営者側との話し合いを行い、一定年齢での昇給停止と新給与表による給与改定を行い、初任給の水準を少しですが上げるということを行いました。

平成18年3月31日こも浦荘と芦崎いこいセンターの受託を廃止し、4月1日より「外川園」と「長崎園」「海鹿島保育所」の3施設での2年間の指定管理を受託しました。このとき、銚子市の任期付職員として採用された方が理事長として就任し、



長崎園

そこからは次の指定管理に向けての経費の節減として人件費率を大幅に削減するとうちだし、昇給は無し、各手当の廃止、正規職員の採用はせず臨時職員での対応とする、給食業務の委託、を行うというものでした。再三にわたる組合での交渉を行っていたところ、経営者側から職員を集め説明会を行う中で、提案事項を実施できなければ事業団は指定管理をとれず潰れてしまうと豪語し、職員の中では働く場がなくなるとは困るといふ不安感を抱く方が増え、事業団からの提案を了承してほしいという声が多く上がってきました。やむを得ず、状況をみながら交渉は行っていくことを条件に提示事項は了承となりました。

職員は不安や不信を抱え転職していく者が増加、年間の退職者数は知りうる中ではこのときの数は最高となりました。正規職員は減り、臨時職員の雇用は増えるものの人員不足は解消されず、介護員の負担は大きくなり、更には利用者の方も、「また職員辞めたの？」と言われ、利用者の皆さんにも不安感を与えていたのだと感じました。介護員一人にかかる業務負担は増え余裕などなくなり、けれど利用者の方々の安全は守らなければならないと皆さんは必死であったと思います。

これがほんとのサービスであろうか、指定管理になってサービスは向上しているのか、と誰もが疑問を抱いていました。そして平成20年の銚子市の公募による指定管理者の選定が行われ、民間法

人でも応募があったようですが、事業団が外川園と長崎園と海鹿島保育所の3年間の指定管理者となりました。このとき事業団の理事長も変わり、停止していた定期昇給と正規職員の採用を組合の要望として申入れ了承され、3年ぶりの『昇給に関する通知』を受け取ることができました。

施設新設と職員の採用、 よりよいサービスを

平成22年度と23年度で千葉県の高齢者対策として、施設入所の待機者数を減らすため、特別養護老人ホームの新設もしくは増設に係る補助金の増額を行うことが決まりました。外川園も旧施設措置のまま6人部屋となっていて狭く、またスプリンクラーの設置がされていない、耐震構造でないなど、何よりも老朽化が著しく建替えは必要に迫られていたのです。公設の施設では補助金はないので、23年4月に銚子市から経営移譲をうけ「外川園」は自主運営となり、長崎園と海鹿島保育所は5年の指定管理を受託しました。

23年9月から銚子市野尻町に新施設の建設が始まり、多床室4人部屋26室、個室型ユニット40室、計140床で、平成24年10月より特別養護老人ホーム松籟の丘が開設されました。増床となったぶんの職員の確保とユニット型での職員の数が必要ですが、なかなか募集しても応募がない状況でした。

今年度新たに6人の職員が採用され、若い人材が増えましたので、今後も新採用者が長く働いてもらえるような環境造りと、人材育成によってより良いサービス提供が出来ることを目指し組合の活動を行っていきます。そして地域の高齢者が益々増加していくなかで入所待機者の減少と高齢者が暮らしやすい街、働きながら子育てしやすい街にこの銚子になっていけるよう、「銚子ってほんとに良いところ」と誰にも言ってもらえるようにしていきたいのです。



草餅つき 職員とボランティアさん